



あべ けんいち 阿部 憲一 議員

JR常磐線

運行情報の周知は

町長／情報提供を要望する

阿部

常磐線が強風のため
に遅れたり大幅に遅
れることが頻繁になっ
ています。
運行はインターネット
トで確認するが、JR
に問い合わせるしか
なく、利用者の多くは
野駅に着いて知ること
になります。
そのため、学生が駅
前に溢れ返り、通院の
方や高齢者まで何時間
も待つ状況です。
町が随時運行を確認
して、防災無線でアナ
ウンスしてはどうか
です。

町長

町もリアルタイムに
情報を得ることは困難
な状況であり、生きた
情報、正確な情報を町
民に届けることができ
ません。
JR側から常磐線沿
線自治体に向け運行状
況、ダイヤの調整等の
情報が通知されること
になれば、防災無線で
のアナウンスも可能に
なります。
有事の際において、
安心安全を確保するた
めに必要な情報の提供
をJRに要望していき
ます。

道の駅整備

道の駅の必要性は

町長／あらゆる災害を想定

阿部

①最初のボーリング5
カ所の内、南北に2カ
所で30m前後土を採取
すると、中に極めて硬
質な岩盤が確認されま
した。2カ所が同様な
らば岩盤が面的に広が
っている可能性を疑う
のが自然です。当町に
は南北に双葉断層が走
っており、弾性波検査
も結果が確実とは言え
ず、岩盤の出現はここ
も想定外とは言えませ
ん。土取りの工事を進
めず、ボーリングを追
加するべきだったのだ
ではありませんか。
②今回の整備計画の変
更では事業収益はなく
なり、維持費だけが発
生します。
例えば、休憩施設内
の情報スペースを二ツ
沼総合公園の直売所へ
のサテライトとする案
ですが、特売所の売り

町長

①土質調査は定義に従
い適切に実施しました。
複数の調査から総合的
に地層は軟岩であるとの
判断に至りました。
②コミュニティエリア
を設けることにより新
たなコミュニティが生
まれ来場者の参加が見
込まれ売上の増加に繋
がります。
③地震、津波、原子力
災害からなる大規模か
つ広域的な複合災害や
自然災害等の対応を捉
えています。いかなる
災害にも対応できる地
域防災の拠点として整
備するものです。

阿部

トリチウム水

海洋放出への考えは

町長／国が責任もって判断すべき

にどのように処理する
べきと考えますか。

町長

福島第一原発の汚染
水を海に放出すれば霧
や雨になり、皮膚吸収
もします。
トリチウムは体内に
入るとDNAの塩基や
塩基同士を繋ぐ水素と
入れ替わって遺伝情報
を書き換え、DNAを
バラバラにします。
セラフィード原子
炉火災（英）では沿岸
地域の子供の白血病の
発症率が10倍ほどに増
加しています。
処分する汚染水は貯
水タンクのみだけでは
なく、地下水が燃料デ
ブリ等と接触する限り
増え続けます。
県内の市町村議会は
汚染水の継続保管を求
めています。原発立
地町では県外処分を求
めています。
国は汚染水を具体的

原発事故によって発
生したALPS処理水
の取扱いについては、
国が責任を持って判断
しなければなりません。
関係機関の意見の聴
取に当たり、風評被害
が生じることがないよ
う、全国において国民
的コンセンサスを得る
べきであり、風評被害
の補償及び賠償を整え
て取り組んでいくこと
が重要であると考えま
す。

予防接種

全町民に無料で実施を

町長／子どもと高齢者は無料に

小磯

インフルエンザウイ
ルスに感染すると、全
身症状が強く、気管支
炎や肺炎などを合併
し、重症化することが
多いのが特徴です。
特にコロナウイルス
感染症が収束していな
い中、同時流行に備え
た希望する町民全員に
予防接種を無料で行う
べきではありませんか。

町長

定期接種となってい
る高齢者等に対するイ
ンフルエンザワクチン
約5千円の接種費用は、
これまで千円の個人負
担であったものを含め
全額公費負担とし、併
せて、乳幼児から中学
3年生までの生徒に対
する接種費用の全額を
助成していきます。今
年はコロナ対策を講じ、
高齢者等に対するイン
フルエンザワクチン定
期接種時期を早め、10
月1日から開始します。

道の駅整備

中止してはどうか

町長／意見集約して検討していく

小磯

①これまで5億850
0万円投入、さらにレ
ストラン・直売所・ヘ
リポート等防災拠点施
設を中止、新たにトイ
シ等のみの無人施設に
3億6200万円投入
この説明を受けました。
どうしてこのような
経過・結果に至ったの
か伺います。
②工事工程管理に瑕疵
があったのではありま
せんか。
③これまで5億850
0万円の税金投入され
ました。税金の使い道
は適正ですか、責任の
所在は誰にありますか。
④「道の駅整備計画」
を中止してはどうかで
すか。

町長

①硬質な岩盤の出現に
より、整備計画を見直
しすることに至りまし
た。
②土質調査は定義に従
い適切に実施しました。
工事の工程管理に瑕疵
はありません。
③震災時の津波と原発
事故による複合災害を
受けたことにより整備
を計画しました。
本事業は、健全財政
の範囲の中で事業を行
うこととしており、事
業費の使い道は適正と
捉えています。
責任の所在について
は、町長が責任を持っ
て取り組んでいきます。
④様々な方のご意見を
集約し、有事の際の防
災機能を備える防災
エリアの整備について
検討していきます。

元年度決算

町の財政状況は

町長／財源に十分余裕がある

小磯

①実質収支比率は3
5%が適正範囲と言わ
れています。元年度の
実績と、どのような対
応されたのか伺います。
②経常的な支出の割合
が大きくなると、突発
的な出費が必要になっ
たときに弾力的な対応
することができなくな
ってしまいます。そこ
で元年度の実績と要
因を伺います。
③公債費負担比率の元
年度実績はいくらです
か。地方債のプライマ
リーバランスについて
同じく将来負担比率は
平成26年度から0%が
続いています。元年度
実績について伺います。
④人件費について、職
員数、総額とラスパイ
レス指数を伺います。

町長

①実質収支比率の実績
は15・2%です。支出
における不用額が生じ
ないよう予算の執行率
の向上に向け取り組ん
できました。
②経常収支比率は適正
範囲実績70%から80%
を目標とし実績は82・
8%です。超過した要
因は、経常的経費が昨
年度より増加している
ことが要因です。
③公債費負担比率の実
績は5・0%です。将
来負担比率については、
町の財源に十分余裕が
あることから、将来負
担比率がマイナスとな
るため、該当無しとな
ります。
④職員プロパー82人、
再任用職員1人、任期
付職員5人、人件費6
05・752千円、ラ
スパイレス指数は99・
1%となっています。



こいそ としお 小磯 利雄 議員